

事業用自動車総合安全プラン2025 中部ブロック取組計画

取組状況

1. 事業用自動車総合安全プラン2025 重点施策の取組状況
2. 中部ブロック取組計画に基づく施策の取組状況
 - (1) 最重点施策の取組状況
 - (2) Mission 1st 運動の取組状況

Mission 1st
～事故削減に向け、一つずつ着実に取り組む～

①バス

(愛知県バス協会)

- 事故防止委員会（2回）、貸切バス実務委員会（2回）、運行管理者向け安全セミナー等で徹底を図るとともに、令和3年7月に「車内事故防止キャンペーン」を実施して、車内事故撲滅に取り組んだ。

(静岡県バス協会)

- 年4回開催している、事故防止委員会において、交通安全運動期間における重点的な取組について、周知徹底を図った。

(岐阜県バス協会)

- 事故防止講習会を通じて、周知徹底を図った。
- 車内事故防止の広報ポスター、グッズを全会員事業者へ配布し周知を図った。
- 18事業者に対しアルコール検知器導入補助を実施。
- 「飲酒運転防止対策マニュアル」による啓発活動を実施。

(三重県バス協会)

- 車内事故防止シール（床用508枚）をコミバス会員も含んだ希望会員に無償配布。
- 日バス作成の車内事故防止ポスターを購入し、希望会員に無償配布。
- NASVAのドライブレコーダトレーニングテキストを全会員に配布。
- 年4回開催（3年度はコロナ禍により1回中止）の事故防止委員会等を通じて、及び全会員へのメール展開・郵送により浸透・定着化を図った。

(福井県バス協会)

- 車内事故防止キャンペーン期間において、会員会社を通じて利用者への周知の徹底、利用者に対するバスの乗り方に関する周知。
- 事故防止委員会、バス運転手安全講習会を通じて、車内事故防止、飲酒運転防止の徹底を推進。
- アルコール検知器導入助成として、2機器を限度に1機器当たり5千円の補助を行い、機器の入れ替え促進を図った。

1. 事業用自動車総合安全プラン2025重点施策の取組状況

②タクシー

(名古屋タクシー協会)

- 交差点での出会い頭事故を減少させるため、各教養、講習において交差道路より道幅が広いだけでは優先道路ではなく、徐行の励行を反復教養。日没1時間前点灯を原則として励行。

(愛知県タクシー協会)

- 指導主任者研修(9月)と自動車交通事故防止セミナー(3月)については、新型コロナウイルス感染症の影響により開催できなかった。
- ライド&ライト運動、ペースカー運動については、年間を通じて実施。
- モードを問わず飲酒事故、重大事故に係る情報を逐次提供。

(静岡県タクシー協会)

- Mission 1st ホームページの周知及び情報共有を図り、講演資料を全会員に配布して社内研修資料として活用した。

(岐阜県タクシー協会)

- 交通安全運動の実施期間前に開催する「指導委員会」（事故防止対策会議）で、更なる交通ルールの遵守と交通マナーの実践を徹底するとともに、事業者においては、点呼時に指導や注意喚起を行った。

(三重県タクシー協会)

- 令和4年1月25日事故防止委員会を開催し、春、夏、秋及び年末の交通安全運動等に事故又は事故になりそうな事案について、ドライブレコーダにより指導するよう周知。飲酒運転根絶の周知及び薬物の使用についても周知。

(福井県タクシー協会)

- 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、各支部での安全対策研修会が未実施となった。
代替措置として、2つの支部については、協会専務理事が支部会において、支部役員に対して、高齢運転者による事故防止対策を中心に資料説明し、各社での乗務員指導を要請。

③トラック

(愛知県トラック協会)

- トラック・セーフティ・ラリーの実施。参加数：1,376社（13,671チーム） 68,355名 達成率77.8%
- 交通事故防止セミナーの開催 15回開催（本部及び各支部）
- トラック安全デー活動の推進 各支部での交通安全運動・・・55回
- 事故防止に資する安全装置への助成。
EMS機器/2,800基 ドライブレコーダー支援機器/2,893基
衝突被害軽減ブレーキ装置/192基
安全装置（後方視野確認、IT点呼機器、追突防止 等）/1,213基
- 飲酒運転撲滅を目指した卓上ミニのぼり旗を会員事業者へ配布

(静岡県トラック協会)

- 追突並びに左折巻き込み事故防止セミナーの開催
- ながらスマホ防止装置導入に対する助成事業・・・20台分助成
- クラウド型運行管理機器導入による、追突事故等削減に向けた実証実験を実施。効率的な啓発を図るため、トラックの死角・交通ルール等をまとめた交通安全啓発DVDを作成、県下小中高校及び特別支援学校1,002校に配布。
- 広報誌「トラック情報」に飲酒運転防止に啓発チラシを掲載

(岐阜県トラック協会)

- 交通事故防止セミナー開催：2回
- 初任運転者の研修会実施：11回
- トラックドライバーコンテストの開催：9月5日
- 横断歩道の広報啓発マグネットステッカーを希望者のみ配布
- 個別事業者への出張指導講習：2回
- 交通事故防止対策委員会で周知 6月23日、9月1日11月29日、令和4年3月17日

1. 事業用自動車総合安全プラン2025重点施策の取組状況

③トラック

(三重県トラック協会)

- 健康起因事故防止セミナーを令和3年11月29日に実施し18社24名が参加。
- ドライブレコーダー映像を使った事故防止セミナーを令和4年3月24日に実施し、27社29名が参加。
- ドライブレコーダー及びデジタコについて合計1,135台分助成。
- 安全宣言事業者の募集を行い、115社409チーム3,369名の参加。
- 初任運転者講習を4回開催し合計92名が参加、社内講師育成講座を2回開催し合計43名が参加。
- 飲酒運転防止DVDを会員へ貸出。

(福井県トラック協会)

- 「交通・労働災害死亡事故0運動2021」の実施（R3.4～R4.3）
運動啓発ポスターの作成/全会員に配布
機関誌「トラックニュースふくい」及び協会HPに掲載
- 「第17回トラックドライバー安全運転コンクール」を実施（R3.6～R3.12）：214日間
参加チーム：740チーム（3,700名）達成チーム：503チーム（2,515名）、達成率：67.97%
- 「令和3年度交通事故防止大会」を緊急開催 参加者：40名（コロナ禍のため縮小）youtubeにて限定公開
飲酒運転の根絶など6項目の安全決議を採択
- 「ドライバー向け事故防止講習会」を開催 受講者：62名
- 「令和3年度交通事故・労働災害防止大会」を開催 参加者：71名
- 「安全プラン2025目標達成セミナー」の開催 受講者：71名
- ドライブレコーダ機器導入促進助成 助成台数：237台
- 安全装置導入促進助成 助成台数：148台
- 飲酒運転根絶に向けドライバーに対する「宣誓書」署名運動を実施 署名数：409事業所（8,598名）
- 県ト協HPに「事故防止特設ページ」を新設
- 「飲酒運転根絶」に向けた啓発物の作製及び配付 ・ウェットティッシュ：1000部、クリアファイル：1000枚
- アルコール検知器導入促進助成 ・助成台数：103台

④-1 NASVA（自動車事故対策機構）

（名古屋主管支所管内における取組）

- 指導講習の動画配信方式での講習実施
- 令和4年2月に「防災マネジメントセミナー」開催
- 指導講習を通じた周知、啓発
 - 飲酒運転撲滅
 - 迷惑運転等悪質な法令違反
 - 高齢運転者の事故防止、加齢に伴う身体機能等の変化など認識してもらい、安全運転につながるよう注意喚起 等
- 指導講習等の場において、運転者に対する指導監督、ドライブレコーダー映像や視覚教材の活用について周知するとともに、適性診断の受診・活用の案内を実施。

④-2 自動車整備振興会

（中部ブロック管内の自動車整備振興会の取組）

- 自動車点検整備推進運動において大型車に関する適切な点検・整備の実施方法についての啓発
ポスター・パネル掲示、会報誌への掲載、WEBサイトでの記事掲載
- 整備管理者研修・整備主任者研修等において、大型車の車輪脱落事故事例を紹介するとともに確実な点検整備の実施について啓発
- 大型車脱輪防止ホイールナットマーカの配布

「事業用自動車総合安全プラン2025」の重点施策を基礎とし、各県各モードの特色を踏まえ、中部ブロックの事業用自動車の事故等の削減を目指すため

「事業用自動車総合安全プラン2025中部ブロック取組計画」を策定。

中部ブロック事故等削減目標

令和7年までに以下の目標達成を目指す（括弧内の数値は令和元年の発生状況）

【ブロック目標値の算定】 全国目標値と全国の令和元年の発生状況と比較し、各項目で減少率を算出、中部ブロックの令和元年の発生状況に減少率を乗じたものをブロック目標値とした

ブロック全体	24時間死者数 <u>19人以下</u> (R1:29)
	重傷者数 <u>81人以下</u> (R1:132)
	人身事故件数 <u>1467件以下</u> (R1:3086)
	飲酒運転 <u>ゼロ</u> (R1:9)

バス	乗客の死者数 <u>ゼロ</u> (R1:0)
	死者数 <u>ゼロ</u> (R1:0)
	重傷者数 <u>5人以下</u> (R1:8)
	人身事故件数 <u>54件以下</u> (R1:106)
	飲酒運転 <u>ゼロ</u> (R1:0)
	乗合バス車内事故件数 <u>11件以下</u> (R1:33)
	貸切バス乗客負傷者数 <u>3件以下</u> (R1:11)

タクシー	乗客の死者数 <u>ゼロ</u> (R1:0)
	死者数 <u>ゼロ</u> (R1:0)
	重傷者数 <u>15人以下</u> (R1:21)
	人身事故件数 <u>423件以下</u> (R1:819)
	飲酒運転 <u>ゼロ</u> (R1:1)
	出会い頭衝突事故件数 <u>91件以下</u> (R1:209)

トラック	死者数 <u>19人以下</u> (R1:29)
	重傷者数 <u>61人以下</u> (R1:103)
	人身事故件数 <u>990件以下</u> (R1:2161)
	飲酒運転 <u>ゼロ</u> (R1:8)
	追突事故件数 <u>506件以下</u> (R1:914)

主な施策（プラン2025の施策に加え）

1. 最重点施策の設定

各県各モードで以下2種のテーマについて最重点施策を設定

（選択項目）削減すべき事故類型1種

（固定項目）飲酒運転ゼロ

1年ごとに効果把握、必要に応じ見直し

2. Mission 1st 運動の継続及び強化

新たに以下を重点項目として設定、具体的

- ① 情報の「受信者」の明確化
- ② 情報の「質」の向上
- ③ 情報の「発信力」の向上

Mission 1st
～事故削減に向け、一層の着実に取り組む～

① 情報の「受信者」の明確化

最終的な事故等防止のキーマンは「運転者」であり、運転者に向けいかに必要な情報を伝えるか、情報を伝える側、受ける側それぞれをそれぞれの立場で明確化するとともに、情報発信体制の強化を図る。

② 情報の「質」の向上

引き続き好事例の発掘を行うほか、重大事故・飲酒運転事案等不適切な事象についても保安・環境課担当者が監査官が実施する特別監査等と同行し、再発防止の観点から情報収集を実施するなどして、情報の質の向上を図る。

③ 情報の「発信力」の向上

情報をより効果的に伝えるため、関係者それぞれで行っていた情報発信の一部を、資源・予算ともに集約し、ブロック全体の取組として発信するとともに、新たなコンテンツの開発に取り組む。

また、当該取組は少なくとも新プランの運用年を通して取り組むこととし、取組の連続性を維持することによる関係者への発信力の維持・向上につなげる。

2.(1) 最重点施策の取組状況 まとめ

最重点施策（選択項目）削減すべき事故類型1種 に対する取組状況

令和3年度の取組結果

（バス）
事故防止委員会、セミナー等を通じて会員に周知
車内事故防止キャンペーンにおける利用者向け啓発の実施 等

（タクシー）
事故防止委員会、セミナー等を通じて会員に周知
ドライブレコーダ映像記録による危険予知に対する確認の徹底 等

（トラック）
事故防止委員会、セミナー等を通じて会員に周知
トラック・セーフティ・ラリー、トラックドライバーコンテスト等の実施
ドラレコ・デジタコ、安全装置等導入促進助成 等

令和3年度の取組に加え、令和4年度に新たに設定した最重点施策

（バス）
・事故防止委員会、バス運転手安全講習会を通じた事故防止の徹底
・高速バス及び貸切バスについてシートベルト着用の徹底 等

（タクシー）
・優先道路と優先権のある道路の差異を各講習で教養、指導
・信号のない交差点通過時の安全に係る基本動作の習慣化の徹底 等

（トラック）
・協会独自で作成したテレビCMの放映、各新聞広告等での周知
・交通安全コンクールをはじめ、交通安全運動等への積極的な参加と周知
・衝突防止警報装置導入促進助成事業の新設
・車輪脱落事故防止講習会の開催（座学・実技指導） 等

最重点施策（固定項目）飲酒運転ゼロ に対する取組状況

令和3年度の取組結果

（バス）
事故防止委員会、セミナー等を通じて会員に周知
アルコール検知器導入補助 等

（タクシー）
飲酒事故、重大事故に係る情報提供
飲酒運転根絶の周知及び薬物の使用について周知 等

（トラック）
事故防止委員会、セミナー等を通じて会員に周知
飲酒運転根絶に向けた啓発物の作製及び配付 等

令和3年度の取組に加え、令和4年度に新たに設定した最重点施策

（バス）
・事故防止委員会、バス運転手安全講習会等を通じた注意喚起の推進 等

（タクシー）
・飲酒運転の危険性と二日酔いの教養、指導
・「飲酒運転防止対策ガイドライン」に従った飲酒運転0に向けた取組 等

（トラック）
・各種マスメディアを利用した広報事業、啓発グッズの作成
・飲酒運転をしない 運転者宣言の募集と周知 等

令和7年までの全体目標（車内事故・参考）

	愛 知							静 岡							岐 阜							三 重							福 井						
バ ス	車内事故							車内事故							車内事故							車内事故							車内事故						
	基準 R1	実績 R2	実績 R3	年同率減少想定			目標 R7	基準 R1	実績 R2	実績 R3	年同率減少想定			目標 R7	基準 R1	実績 R2	実績 R3	年同率減少想定			目標 R7	基準 R1	実績 R2	実績 R3	年同率減少想定			目標 R7	基準 R1	実績 R2	実績 R3	年同率減少想定			目標 R7
	20	12	15	14	11	8	5	10	7	7	7.2	5.8	4.4	3	2	1	0	1.6	1.4	1.2	1	0	0	1	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1

令和 3 年度に設定した削減すべき事故類型目標、最重点施策及び令和 3 年度の実績結果

モード・ テーマ		愛 知	静 岡	岐 阜	三 重	福 井
バ ス	削減す べき事 故類型 目標	車内事故 （事故報告書提出件数） 48件（R1）→0件（R7）	人身事故 33件（R1）→16件（R7）	追突事故 1件（R1）→0件（R3） 車内事故 2件（R1）→0件（R3）	車内事故 0件（R1）→0件（R3）	車内事故 1件（R1）→0件（R3）
	最重 点施 策	・事故防止委員会での徹底 ・運行管理者向け安全教育セミナーの開催 ・車内事故防止キャンペーンでの各社具体的な取組み及び利用者向け啓発の実施 ・貸切バス実務委員会での乗客へのシートベルト着用の徹底	（事故防止委員会（年 4 回）での指導事項） ・第一当事者となる重大事故を 0 とする。 ・車内事故をなくすよう「ゆとり乗降」に取り組む。 ・やさしい運転の実施並びに車内広報の実施。	・セミナーの開催（会員向け自動車事故防止セミナーを開催 ※令和 3 年度中 2 回開催予定） ・衝突被害軽減ブレーキ搭載車両導入に係る費用補助 ・車内事故防止の広報ポスター、グッズ等を作製	・車内事故防止啓発フィルム（床貼付用）を購入し、希望会員（コミバス会員も含む）に無償配布する。 ・毎年、日バスが作成する車内事故防止ポスター（縦型：営業所用、横型：車内掲出用）を購入し、希望会員に無償配布する。 ・以上は乗合で、貸切については、日バスが作成のシートベルト着用啓発シート（座席用）を購入し、27 年度に 5 万枚、29 年度に 6 万 2 千枚、R1 年度に 2 万 8 千 3 百枚一括購入して会員に配布しており、今後も追加要求があれば希望会員への無償配布を継続する。	・車内事故防止策について有効な取り組みを探しながら、会員へ情報の展開を行う。 ・心疾患、脳疾患の検査を受けた場合、一人 2 万円（旧：1 万円）、1 事業者 5 名（旧：3 名）、運転者数 5 0 名以上の場合、1 0 名（旧：5 名）へ増額予定（3 月の理事会で決定）
	令和 3 年度 取組 結果	令和 3 年度事業として、 ・事故防止委員会（2 回）、貸切バス実務委員会（2 回）、運行管理者向け安全セミナー等で徹底を図るとともに、令和 3 年 7 月に「車内事故防止キャンペーン」を実施して、車内事故撲滅に取組んだ。 ・削減目標である「事故報告規則に該当する重大事故ゼロ」は未達成であるが、発生件数は減少傾向である。	年 4 回開催している、事故防止委員会において、静岡運輸支局及び静岡県警察本部より事故防止についてご指導をいただくとともに、交通安全運動期間における重点的な取組について、周知徹底を図った。	・令和 3 年 6 月 2 5 日事故防止講習会を開催。 ・衝突被害軽減ブレーキ導入に係る費用補助は発生しなかった。 ・車内事故防止の広報ポスター、グッズを全会員事業者へ配布し周知を図った。	・最重点施策については、以下のとおり。 ①車内事故防止シール（床用 508 枚）をコミバス会員も含んだ希望会員に無償配布した。 ②日バス作成の車内事故防止ポスターを購入し、希望会員に無償配布した。 ③日バス作成のシートベルト着用啓発シート（座席用）については、各社でユニフォームに図られていることもあり、要望がなかった。	会員全社を対象の事故防止委員会を昨年、7 月 2 日、12 月 7 日の 2 回開催し、車内事故防止も含めた事故防止について、周知済みです。 また、心疾患、脳疾患の検査助成については、一人 1 万 5 千円（旧：1 万円）、1 事業者 5 名（旧：3 名）、運転者 5 0 名以上の場合 7 名（旧：5 名）、予算 4 0 万円（旧：1 0 万円）に規程の改正を行った。

令和 4 年度に設定した削減すべき事故類型目標及び最重点施策

モード・ テーマ		愛 知	静 岡	岐 阜	三 重	福 井
バ ス	削減す べき事 故類型 目標	車内事故 （事故報告書提出件数） 48件（R1）→0件（R7）	車内事故 10件（R1）→5件（R4）	追突事故 3件（R2）→0件（R4） 車内事故 1件（R2）→0件（R4）	車内事故 0 件（R2）→0件（R4）	車内事故 1件（R2）→1件以下（R4） 人身事故 2件（R2）→1件以下（R4）
	最重 点施 策	・事故防止委員会での徹底（年間 2 ～ 3 回） ・運行管理者向け安全教育セミナーの開催（年間 2 回） ・車内事故防止キャンペーン（毎年 7 月）での各社具体的な取組み及び利用者向け啓発の実施	・年 4 回開催の事故防止委員会において指導（重点指導事項） ・第一当事者となる重大事故を 0 とする。 ・車内事故をなくすよう「ゆとり乗降」に取り組む。 ・やさしい運転の実施並びに車内広報の実施。 ・ <u>車内事故防止キャンペーンにおける取組の実施</u>	・セミナーの開催（会員向け追突事故防止等セミナーを開催 ※令和 4 年度中 2 回開催予定） ・衝突被害軽減ブレーキ搭載車両導入に係る費用補助 ・車内事故防止の広報ポスター、グッズ等の作製	・車内事故防止啓発フィルム（床貼付用）を購入し、希望会員（コミバス会員も含む）に無償配布する。 ・毎年、日バスが作成する車内事故防止ポスター（縦型：営業所用、横型：車内掲出用）を購入し、希望会員に無償配布する。 ・事故防止委員会等において、車内事故防止呼びかけアナウンス（高速バス及び貸切バスについてはシートベルト着用）の徹底推進を図る。	・ <u>車内事故防止キャンペーン期間において、会員会社を通じて利用者への周知の徹底、利用者に対するバスの乗り方に関する周知</u> ・ <u>人身事故の防止を図るため、事故防止委員会、バス運転手安全講習会を通じて、事故防止の徹底を推進する。</u>

令和7年までの全体目標（飲酒運転・参考）

	愛 知						静 岡						岐 阜						三 重						福 井					
バ ス	飲酒運転						飲酒運転						飲酒運転						飲酒運転						飲酒運転					
	基準 R1	実績 R2	実績 R3	年同率減少想定			基準 R1	実績 R2	実績 R3	年同率減少想定			基準 R1	実績 R2	実績 R3	年同率減少想定			基準 R1	実績 R2	実績 R3	年同率減少想定			基準 R1	実績 R2	実績 R3	年同率減少想定		
	0	0	0	R4	R5	R6	0	0	0	R4	R5	R6	0	0	0	R4	R5	R6	0	0	0	R4	R5	R6	0	0	0	R4	R5	R6
	ゼロ						ゼロ						ゼロ						ゼロ						ゼロ					

令和3年度に設定した最重点施策及び令和3年度の実績結果

モード・ テーマ		愛 知		静 岡		岐 阜		三 重		福 井	
バ ス	目標	飲酒運転ゼロ									
	最重点施策	・アルコール検知器の導入補助（運輸事業振興助成交付金を活用した事業者助成） ・事故防止委員会での徹底		（事故防止委員会（年4回）での指導事項） ・運行前点検及び運行後点呼の確実な実施。		・高性能・高機能アルコール検知器の導入補助		・ASK（アルコール薬物問題全国市民会議）主催のインストラクター講習会等の受講を推進する。 ・秋の全国交通安全運動（9/21～9/30）の実施に併せて実施している日バスの『飲酒運転防止週間』において、【近年の「飲酒運転」事案】及び【飲酒運転防止対策マニュアル】を配布し飲酒運転の根絶を図っており、これを継続。 ・年4回開催の事故防止委員会等を通じて、県交通安全対策協議会が策定した「飲酒運転0をめざす基本計画」の浸透・定着化を図る。		アルコール検知器助成（1事業者2台、1機器5千円助成）	
	令和3年度取組結果	令和3年度事業として、 ・事故防止委員会（2回）、貸切バス実務委員会（2回）、運行管理者向け安全セミナー等で「飲酒運転ゼロ」の徹底を図った。 ・令和3年度は、飲酒運転による事故は発生していない。		年4回開催している、事故防止委員会において、静岡運輸支局及び静岡県警察本部より飲酒防止についてご指導をいただくとともに、交通安全運動期間における重点的な取組について、周知徹底を図った。		・18事業者に対しアルコール検知器導入補助を実施。 ・「飲酒運転防止対策マニュアル」による啓発活動。		・令和3年度中の飲酒運転ゼロは達成できた。 ・最重点施策については、年4回開催（3年度はコロナ禍により1回中止）の事故防止委員会等を通じて、及び全会員へのメール展開・郵送により浸透・定着化を図った。		令和3年度実績は、3社、5台のアルコール検知を助成。 飲酒運転ゼロを今後も目指すことで、事故防止委員会などで周知済みです。	

令和4年度に設定した最重点施策

モード・ テーマ		愛 知		静 岡		岐 阜		三 重		福 井	
バ ス	最 重 点 施 策	・アルコール検知器の導入補助（運輸事業振興助成交付金を活用した事業者助成） ・事故防止委員会での徹底（年間2～3回）		・年4回開催の事故防止委員会において指導（重点指導事項） ・運行前点呼及び運行後点呼の確実な実施。 ・アルコール検知器の導入助成（運輸事業振興助成交付金）		・高性能・高機能アルコール検知器の導入補助 ・事故防止委員会での指導徹底		・秋の全国交通安全運動（9/21～9/30）の実施に併せて実施している日バスの『飲酒運転防止週間』において、【近年の「飲酒運転」事案】及び【飲酒運転防止対策マニュアル】を配布し飲酒運転の根絶を図っており、これを継続。 ・年4回開催の事故防止委員会等を通じて、県交通安全対策協議会が策定した「飲酒運転0をめざす基本計画」の浸透・定着化を図る。		・アルコール検知器導入助成として、2機器を限度に1機器当たり5千円の補助を行い、機器の入れ替え促進を図っている。 ・事故防止委員会、バス運転手安全講習会等を通じて、飲酒運転防止に関する注意喚起を推進していく。	

令和7年までの全体目標（出会い頭事故・参考）

	愛 知							静 岡							岐 阜							三 重							福 井						
タク シ ー	出会い頭事故							出会い頭事故							出会い頭事故							出会い頭事故							出会い頭事故						
	基準	実績	実績	年同率減少想定			目標	基準	実績	実績	年同率減少想定			目標	基準	実績	実績	年同率減少想定			目標	基準	実績	実績	年同率減少想定			目標	基準	実績	実績	年同率減少想定			目標
	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
	112	65	70	86.4	73.6	60.8	48	81	43	41	62.6	53.4	44.2	35	10	2	3	8	7	6	5	2	3	5	1.6	1.4	1.2	1	4	3	0	3.2	2.8	2.4	2

令和 3 年度に設定した削減すべき事故類型目標、最重点施策及び令和 3 年度の実績結果

モード・テーマ		愛 知	名古屋	静 岡	岐 阜	三 重	福 井
タク シ ー	削減すべき事故類型目標	出会い頭衝突事故 追突事故 （目標設定無し）	対車両・出会い頭事故 112件（R1） →89件（R3）20%減	出会い頭事故 81件（R1） →69件（R3）15%減	出会い頭事故 10件（R1） →9件（R3）10%減	出会い頭事故 0件（R1） →0件（R3）	出会い頭事故 1件（R1） →0件（R3）
	最重点施策	・指導主任者研修、自動車交通事故防止セミナーの開催（各1回） ・ライド&ライト運動、ベースカー運動の継続	住宅地（交差点）での対車両事故の徹底。特に軽車両（自転車）は一時停止しないとの認識のもと確実な交差点での徐行運転の励行を実施するよう各講習で実施。	・セミナーの開催（会員向けに出会い頭衝突事故防止に向けたセミナーを開催 令和3年度中に1回開催） ・Mission 1st ホームページの周知及び情報共有を図り、講演資料や好事例の利活用を推進する。	交通安全運動の実施期間前に開催する「指導委員会」（事故防止対策会議）で、更なる交通ルールの遵守と交通マナーの実践を徹底するとともに、事業者においては、点呼時に指導や注意喚起を行う。	運転者自身が事業用自動車を運転していることを自覚させること。 ドライブレコーダー映像記録等を活用して指導する。	・各支部にて安全対策の研修会を開催（研修会開催にあたり経費の一部補助）
	令和3年度取組結果	・指導主任者研修(9月)と自動車交通事故防止セミナー(3月)については、新型コロナウイルス感染症の影響により開催できなかった。 ・ライド&ライト運動、ベースカー運動については、年間を通じて実施	令和3年中の出合頭事故の結果は106件と微減であり、第一当事者65件第二当事者41件（Wカウント1件）であった。人身事故総数の34%を占め、更なる取組を継続実施する。	コロナ感染症によりセミナーは開催できなかったが、Mission 1st ホームページの周知及び情報共有を図り、講演資料を全会員に配布して社内研修資料として活用した。	交通安全運動の実施期間前に開催する「指導委員会」（事故防止対策会議）で、更なる交通ルールの遵守と交通マナーの実践を徹底するとともに、事業者においては、点呼時に指導や注意喚起を行なった。	令和4年1月25日事故防止委員会を開催し、春、夏、秋及び年末の交通安全運動等に事故又は事故になりそうな事案について、ドライブレコーダーにより指導するように周知しました。	・新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、各支部での安全対策研修会が未実施となった。 ・代替措置として、2つの支部については、協会専務理事が支部会において、支部役員に対して、高齢運転者による事故防止対策を中心に資料説明し、各社での乗務員指導を要請した。

令和 4 年度に設定した削減すべき事故類型目標及び最重点施策

モード・テーマ		愛 知	名古屋	静 岡	岐 阜	三 重	福 井
タク シ ー	削減すべき事故類型目標	出会い頭衝突事故 追突事故 （目標設定無し）	出会い頭事故 112件（R1） →78件（R4）30%減	出会い頭事故 43件（R2） →37件（R4）15%減	出会い頭事故 10件（R1） →7件（R4）30%減	出会い頭事故 3件（R2） →0件（R4）	出会い頭事故 3件（R2） →0件（R4）
	最重点施策	・指導主任者研修、自動車交通事故防止セミナーの開催（各1回） ・ライド&ライト運動、ベースカー運動の継続	住宅区域内での対車両（軽車両）事故の徹底防止。特に軽車両（自転車）の特性を理解させる。（自転車は一時停止場所でも一時停止しない。） 交差点での徐行の徹底。 優先道路と優先権のある道路の差異を各講習で教養、指導する。	・セミナーの開催（会員向けに出会い頭衝突事故防止に向けたセミナーを開催 令和4年度中に1回開催） ・Mission 1st ホームページにより情報共有を図り、講演資料や好事例の利活用を推進する。	交通安全運動の実施期間前に開催する「指導委員会」（事故防止対策会議）で安全運行を徹底するとともに、事業者においては、乗務員個々の運転状況などをもとに助言や指導を徹底する。	・交差点及び狭い道路での出会い頭事故を防止するため、前方や側方の飛び出し等の注意を徹底する。 ・信号のない交差点通過時の安全に係る基本動作の習慣化の徹底。 ・特にドライブレコーダー映像記録による危険予知に対する確認の徹底。	・各支部で開催する研修会にて安全対策の講習を実施する。 ・交通安全運動実施期間前に開催する事故防止委員会、さらなる交通ルールの順守及び交通マナーの徹底を図る。 ・各事業者において、点呼時に指導・注意喚起を行うことを徹底するとともに、ドライブレコーダー等を活用して教育指導を行う。

令和7年までの全体目標（飲酒運転・参考）

	愛 知							静 岡							岐 阜							三 重							福 井						
タク シ ー	飲酒運転							飲酒運転							飲酒運転							飲酒運転							飲酒運転						
	基準 R1	実績 R2	実績 R3	年同率減少想定			目標 R7	基準 R1	実績 R2	実績 R3	年同率減少想定			目標 R7	基準 R1	実績 R2	実績 R3	年同率減少想定			目標 R7	基準 R1	実績 R2	実績 R3	年同率減少想定			目標 R7	基準 R1	実績 R2	実績 R3	年同率減少想定			目標 R7
				R4	R5	R6					R4	R5	R6					R4	R5	R6					R4	R5	R6					R4	R5	R6	
	0	0	0	ゼロ				1	0	0	ゼロ				0	0	0	ゼロ				0	0	0	ゼロ				0	0	0	ゼロ			

令和３年度に設定した最重点施策及び令和３年度の実績結果

モード・ テーマ		愛 知	名古屋	静 岡	岐 阜	三 重	福 井
タク シ ー	目標	飲酒運転ゼロ					
	最重点 施策	・指導主任者研修、自動車交通事故防止セミナーの開催（各１回） ・モードを問わず飲酒事故に係る情報を逐次提供	点呼時でのアルコールチェックの励行	セミナーの開催（会員向けに飲酒運転撲滅に向けたセミナーを開催令和３年度中に１回開催）	事業者による乗務前のアルコール検査と乗務終了後の確認を徹底	飲酒や薬物等による運転操作への影響、危険性等について指導する。	・アルコール検知器を用いた検査の励行 ・社内において、飲酒運転の悪質性・危険性について、広報啓発活動を通じて意識改革を推進し、飲酒運転の根絶を図る。
	令和３年度 取組結果	・指導主任者研修(9月)と自動車交通事故防止セミナー(3月)については、新型コロナウイルス感染症の影響により開催できなかった。 ・モードを問わず飲酒事故、重大事故に係る情報を逐次提供した。	令和3年度飲酒運転事故0件、引続き飲酒運転0件を継続	コロナ感染症によりセミナーは開催できなかったが、Mission 1st ホームページの周知及び情報共有を図り、講演資料を全会員に配布して社内研修資料として活用した。	事業者による乗務前のアルコール検査と乗務終了後の確認を徹底した。	春、夏、秋及び年末年始輸送等の安全運動等に、飲酒運転根絶の周知及び薬物の使用について周知しました。	・各社において毎点呼時にアルコール検知を実施。 ・自社規則として、乗務前日の飲酒時間と飲酒量を設定するなど、意識改革を推進。

令和４年度に設定した最重点施策

モード・ テーマ		愛 知	名古屋	静 岡	岐 阜	三 重	福 井
タク シ ー	最重点 施策	・指導主任者研修、自動車交通事故防止セミナーの開催（各１回） ・モードを問わず飲酒事故に係る情報を逐次提供	点呼時でのアルコールチェックの徹底。 飲酒運転の危険性と二日酔い（アルコールが体内で分解する時間）の教養、指導。	・乗務前及び乗務後のアルコール検査の徹底 ・Mission 1st による講習資料の活用	事業者による乗務前のアルコール検査と乗務終了後の確認を徹底	・「飲酒運転防止対策ガイドライン」に従った飲酒運転０に向けた取組の推進。 ・飲酒運転撲滅の啓発。	・アルコール検知器を用いた検査の励行 ・事業者において、飲酒運転の悪質性・危険性について、広報啓発活動等を通じて乗務員の意識改革を向上させ、飲酒運転の根絶を図る。

令和7年までの全体目標（追突事故・参考）

トラック	愛 知							静 岡							岐 阜							三 重							福 井						
	追突事故							追突事故							追突事故							追突事故							追突事故						
	基準	実績	実績	年同率減少想定			目標	基準	実績	実績	年同率減少想定			目標	基準	実績	実績	年同率減少想定			目標	基準	実績	実績	年同率減少想定			目標	基準	実績	実績	年同率減少想定			目標
	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
	511	481	502	406.2	353.2	301.4	249	317	293	256	252.2	219.8	187.4	155	83	65	68	66.2	57.8	49.4	41	95	81	79	75.8	66.2	56.6	47	28	22	21	22.4	19.6	16.8	14

令和 3 年度に設定した削減すべき事故類型目標、最重点施策及び令和 3 年度の取組結果

モード・テーマ		愛 知	静 岡	岐 阜	三 重	福 井
トラック	削減すべき事故類型目標	車両同士の追突事故 511件（R1） →409件（R3） 20%減	追突事故 317件（R1） →270件（R3） 15%減	追突事故・歩行者に起因する事故 1万台あたりの死者数 1.25人（R1） →1.0人（R3）	追突事故 95件（R1） →80件（R3） 15%減	追突事故 28件（R1） →22件（R3） 20%減
	最重点施策	・トラック・セーフティ・ラリーの実施 ・交通事故防止セミナーの開催 ・トラック安全デー活動の推進 ・関係機関が行う交通安全活動への積極的参加 ・国土交通省、全ト協とタイアップしたチラシの配布 ・事故を防止する安全装置に対する助成事業 ・各種マスメディアを利用した広報事業	・会員向けに追突事故防止に特化したセミナーの開催（年度内1回） ・ながらスマホ防止装置導入に対する費用補助 ・クラウド型運行管理機器導入による、追突事故等削減に向けた実証実験 →効果が確認された場合、令和4年度以降導入費用補助を検討	・交通事故防止セミナーの開催 ・個別事業者への出張指導講習 ・初任運転者研修の実施 ・トラックドライバーコンテストの実施 ・横断歩道の広報啓発マグネットステッカー配布（岐阜県警作成）	・セミナーの開催（ドライブレコーダー映像を使った事故防止セミナー及び健康起因事故に特化したセミナー） ＊令和3年度中2回開催予定 ・ドライブレコーダー及びデジタコ導入費用助成 ・安全宣言事業者の募集	「トラック事業における総合安全プラン2025」の目標を達成するために、 ・追突事故・交差点事故対策セミナーを開催 ・「交通労働災害死亡事故0運動2021」の実施（R3.4.1～R4.3.31） ・「トラックドライバー安全運転コンクール」の実施（R3.6.1～R3.12.31） ・事故防止啓発活動ポスター・チラシのぼり旗の配布 ・安全装置等導入促進助成の実施（本体価格の1/2、上限3万円/台）
	令和3年度取組結果	追突事故件数 500件（愛知運輸支局よりデータ提供） →達成された ・トラック・セーフティ・ラリーの実施。 参加数：1,376社（13,671チーム）68,355名 達成率77.8% ・交通事故防止セミナーの開催 15回開催（本部及び各支部） ・トラック安全デー活動の推進 各支部での交通安全運動・・・55回	・追突並びに左折巻き込み事故防止セミナーの開催 ・ながらスマホ防止装置導入に対する助成事業・・・20台分助成 ・クラウド型運行管理機器導入による、追突事故等削減に向けた実証実験を実施。一定の効果が得られたため、令和4年度も継続実施	交通事故防止セミナー開催：6月1日、11月26日 初任運転者の研修会実施：11回 トラックドライバーコンテストの開催：9月5日 横断歩道の広報啓発マグネットステッカーを希望者のみ配布 個別事業者への出張指導講習：2回	・健康起因事故防止セミナーを令和3年11月29日に実施し18社24名が参加した。 ・ドライブレコーダー映像を使った事故防止セミナーを令和4年3月24日に実施し、27社29名が参加した。 ・ドライブレコーダー及びデジタコについて合計1,135台分助成を行った。 ・安全宣言事業者の募集を行い、115社409チーム3,369名の参加があった。	①「交通・労働災害死亡事故0運動2021」の実施（R3.4～R4.3） ・運動啓発ポスターの作成/全会員に配布 ・機関誌「トラックニュースふい」及び協会HP掲載 ②「第17回トラックドライバー安全運転コンクール」を実施（R3.6～R3.12） ・参加チーム：740チーム（3,700名） ・達成チーム：503チーム（2,515名）、達成率：67.97%

トラック	令和3年度取組結果	・関係機関が行った交通安全活動へ積極的に参加した。 ・国土交通省や全日本トラック協会とタイアップしたチラシを配布した。 ・事故防止に資する安全装置への助成。 EMS機器/2,800基 ドライブレコーダー支援機器/2,893基 衝突被害軽減ブレーキ装置/192基 安全装置（後方視野確認、IT点呼機器、追突防止 等）/1,213基 ・年末の交通安全県民運動期間に併せて、事故防止啓発のテレビCMを放映した。				③「令和3年度交通事故防止大会」を緊急開催 ・日時：令和3年6月14日 16:00～ ・参加者：40名（コロナ禍のため縮小） youtubeにて限定公開 ④「ドライバー向け事故防止講習会」を開催・日時：令和3年6月26日 10:00～/13:30～・受講者：62名 ⑤「令和3年度交通事故・労働災害防止大会」を開催・日時：令和3年12月7日 13:30～参加者：71名 ⑥「安全プラン2025目標達成セミナー」の開催・日時：令和3年12月7日・受講者：71名 ⑦四季の「交通安全県民運動」期間中に街頭啓発活動（7支部実施） ・各地主要道路交差点において、のぼり旗等で啓発活動を実施 ⑧ドライブレコーダー機器導入促進助成 ・助成台数：237台 ⑨安全装置導入促進助成 ・助成台数：148台

令和 4 年度に設定した削減すべき事故類型目標及び最重点施策

モード・テーマ		愛 知	静 岡	岐 阜	三 重	福 井
トラック	削減すべき事故類型目標	車両同士の追突事故 481件（R2） →433件（R4） 48件減	追突事故 293件（R2） →249件（R4） 15%減	追突事故・歩行者に起因する事故 1万台あたりの死亡事故件数 1.19件（R2）→0.5件（R4）	追突事故 81件（R2） →68件（R4） 15%減	追突事故 28件（R1） →22件（R4） 20%減
	最重点施策	・トラック・セーフティ・ラリーの実施。 ・交通事故防止セミナーの開催。 ・トラック安全デー活動の推進。 ・交通安全関係機関が行う交通安全活動への積極的参加。 ・国土交通省、全日本トラック協会とタイアップした啓発チラシの配布。 ・事故を防止する安全装置に対する助成事業。 ・愛ト協独自で作成したテレビCMの放映。 ・各種マスメディアを利用した広報事業。	・会員向けセミナーの開催 ・クラウド型運行管理機器による追突実験削減のための実証実験を継続 ・ドラレコ・デジタコ導入促進助成事業の実施 ・衝突防止警報装置導入促進助成事業の新設 ・交通安全コンクールをはじめ、交通安全運動等への積極的な参加と周知	・交通事故防止セミナーの開催 ・個別事業者への出張指導講習 ・初任運転者研修の実施 ・トラックドライバーコンテストの実施	・セミナーの開催（ドライブレコーダー映像を使った事故防止セミナー及び健康起因事故に特化したセミナー）＊令和4年度中2回開催予定 ・ドライブレコーダー及びデジタコ導入費用助成 ・安全宣言事業者の募集 ・各新聞広告等での周知	「トラック事業における総合安全プラン2025」の目標を達成するために、 ・総合安全プラン目標達成セミナー（追突事故防止セミナー）の開催（各支部開催の推奨） ・車輪脱落事故防止講習会の開催（座学・実技指導） ・「交通労働災害死亡事故0運動2022」の実施（R4.4.1～R5.3.31） ・「トラックドライバー安全運転コンクール」の実施（R4.4.15～R4.10.15） ・事故防止啓発ポスター、チラシ等の配布及びH P 掲載 ・安全装置等導入促進助成の実施（本体価格の1/2、上限3万円/台）

令和7年までの全体目標（飲酒運転・参考）

	愛 知							静 岡							岐 阜							三 重							福 井						
ト ラ ッ ク	飲酒運転							飲酒運転							飲酒運転							飲酒運転							飲酒運転						
	基準 R1	実績 R2	実績 R3	年同率減少想定			目標 R7	基準 R1	実績 R2	実績 R3	年同率減少想定			目標 R7	基準 R1	実績 R2	実績 R3	年同率減少想定			目標 R7	基準 R1	実績 R2	実績 R3	年同率減少想定			目標 R7							
				R4	R5	R6					R4	R5	R6					R4	R5	R6					R4	R5	R6								
	3	2	1	ゼロ			2	1	1	ゼロ			0	0	2	ゼロ			2	0	0	ゼロ			1	1	2	ゼロ							

令和 3 年度に設定した最重点施策及び令和 3 年度の実績結果

モード・ テーマ		愛 知		静 岡		岐 阜		三 重		福 井	
ト ラ ッ ク	目 標	飲酒運転ゼロ									
	最重 点 施 策	・トラック・セーフティ・ラリーの実施。 ・交通事故防止セミナーの開催。 ・トラック安全デー活動の推進。 ・関係機関が行う交通安全活動への積極的参加。 ・国土交通省、全ト協とタイアップしたチラシの配布。 ・点呼時に活用でき、意識高揚に繋がる卓上ミニのぼり旗を会員事業者へ配布。		・会員向けに飲酒運転防止に特化したセミナーの開催（年度内1回） ・飲酒運転防止を啓発する為のグッズを作成し、会員等へ配付		・点呼を確実に実施（アルコール検知器使用） ・交通事故防止委員会にて周知 ・広報媒体を活用した周知（HP、メルマガ、機関紙） ・適正化巡回指導や交通事故防止巡回による周知及び指導		・定期発送での周知 ・初任運転者講習及び社内講師育成講座での飲酒運転防止についての説明 ・飲酒運転防止DVDの会員用へ貸し出し		・「危険運転0宣言」（飲酒運転・ながら運転・あおり運転）継続中（卓上のぼり旗、ポスター、ステッカー等で啓発活動） ・「飲酒運転撲滅活動inふくい」（SDDプロジェクト）に協賛 ・飲酒運転根絶啓発物等の配布 ・アルコール検知器導入促進助成の実施（本体価格の1/2、上限10万円） ・アルコールインターロック装置導入促進助成の実施（本体価格の1/2、上限10万円）	
	令和3年度 取組 結果	飲酒運転件数 1件（愛知運輸支局よりデータ提供） →未達成 ・トラック・セーフティ・ラリーの実施。 参加数：1,376社（13,671チーム） 68,355名 達成率77.8% ・交通事故防止セミナーの開催 15回開催（本部及び各支部） ・トラック安全デー活動の推進 各支部での交通安全運動・・・55回 ・関係機関が行った交通安全活動へ積極的に参加した。 ・国土交通省や全日本トラック協会とタイアップしたチラシを配布した。 ・飲酒運転撲滅を目指した卓上ミニのぼり旗を会員事業者へ配布した。		・しずおか・アフターコロナ飲酒運転ストップ作戦に参加 ・広報誌「トラック情報」に飲酒運転防止に啓発チラシを掲載 ・静岡県トラック協会の事故防止セミナーにおいて、飲酒運転防止について、静岡運輸支局様より講演		交通事故防止対策委員会で周知 令和3年6月23日、9月1日、11月29日、令和4年3月17日 初任運転者研修会で周知 適正化巡回指導による周知及び指導		・令和3年8月号で飲酒運転の撲滅や行政処分について、10月号で「正しい運転、明るく輸送運動」の際に再周知した。 ・初任運転者講習を4回開催し合計92名が参加、社内講師育成講座を2回開催し合計43名が参加しました。 ・飲酒運転防止DVDを会員へ貸し出ししました。		①「令和3年度交通事故防止大会」を緊急開催 ・日時：令和3年6月14日 16:00～ 参加者：40名（コロナ禍のため縮小） youtubeにて限定公開 ・飲酒運転の根絶など6項目の安全決議を採択 ②飲酒運転根絶に向けドライバーに対する「宣誓書」署名運動を実施 ・署名運動：令和3年5月～ 署名数：409事業所（8,598名） ※令和3年7月7日、関係行政へ宣誓書を提出 ・提出先：福井運輸支局長、福井県警察本部交通部長	
	令和3年度 取組 結果									③県ト協HPに「事故防止特設ページ」を新設 ・各関係行政機関等からの資料、情報を集約し周知徹底 ④「飲酒運転撲滅活動in2021ふくい」に協賛（STOP DRUNK DRIVING PROJECT in FUKUI） ・期間：令和3年8月～令和4年7月（1年間）、2年目 ・主催：FM福井（協賛企業：17社） ・ラジオCM100本放送、啓発ポスター・グッズ作製、配布 ⑤「飲酒運転根絶」に向けた啓発物の作製及び配付 ・ウェットティッシュ：1000部、クリアファイル：1000枚 ⑥アルコール検知器導入促進助成 ・助成台数：103台	

令和 4 年度に設定した最重点施策

モード・ テーマ		愛 知						静 岡						岐 阜						三 重						福 井					
ト ラ ッ ク	最重点 策	・トラック・セーフティ・ラリーの実施。 ・交通事故防止セミナーの開催。 ・トラック安全デー活動の推進。 ・交通安全関係機関が行う交通安全活動への積極的参加。 ・国土交通省、全日本トラック協会とタイアップした啓発チラシの配布。 ・各種マスメディアを利用した広報事業。 ・飲酒運転根絶を目的とした啓発グッズの作成。						・会員向けにセミナーの開催 ・広報誌にて飲酒運転防止を啓発 ・飲酒運転防止啓発グッズを作成・配布						・点呼を確実に実施（アルコール検知器使用） ・交通事故防止対策委員会にて周知 ・広報媒体を活用した周知（HP、メルマガ、機関紙） ・適正化巡回指導や交通事故防止巡回による周知及び指導						・定期発送で周知 ・初任運転者講習及び各支部講座での飲酒運転防止についての説明 ・飲酒運転防止DVDの会員用へ貸し出し ・適正化実施機関巡回指導等の指導 ・飲酒運転をしない 運転者宣言の募集と周知						・「危険運転0宣言」（飲酒運転・ながら運転・あおり運転）継続（卓上のぼり旗、ポスター、ステッカー等配布し周知徹底） ・「飲酒運転撲滅活動inふくい」（SDDプロジェクト）に協賛 ・アルコール検知器等導入促進助成の実施（本体価格の1/2、上限10万円） ・アルコールインターロック装置導入の推進					

- 4半期ごとに講習資料を作成、各支局へ配布するとともに運輸局HPに掲載。
- 関係事業者団体と連携し、各団体で予定されている事故防止委員会等の会合において、事業者に対し事故防止に資する情報を講義、資料等により提供。
 - 令和3年度のテーマ
 - 令和3年4～6月（テーマ：点呼）
 - 令和3年7～9月（テーマ：飲酒運転防止1）
 - 令和3年10～12月（テーマ：飲酒運転防止2）
 - 令和4年1～3月（テーマ：健康管理）
- 自動車事故防止セミナー2021の開催（令和4年1月27日 グランシップ静岡）

静岡県をメイン会場として、その模様をパブリックビューイング方式により愛知県のウインクあいちへライブ中継とした2会場同時開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響のため、急遽、会場聴講を取り止め、WEB配信のみの無観客セミナーとして開催。このため、静岡会場での機器展示、愛知会場の開催を中止とした。

 - ライブ中継 視聴回数720回、最大同時閲覧数 153人
 - 見逃し配信 視聴回数524回
- 中部ブロック独自の通達を発出

「新型コロナウイルス感染症の影響により稼働しないこととなった事業用自動車の再稼働について」
（令和3年9月30日付 事務連絡）

令和3年9月末をもって緊急事態宣言等が全国的に解除される時期をとりえ、改めて周知徹底を図った。

「運転者に対する運転適性診断の適切な受診及び指導の徹底について」
（令和3年11月11日付 中運自監旅第77号、中運自監貨第76号、中運技保第111号）

監査結果や巡回指導結果での結果を踏まえ、あらためて周知徹底を図った。
- 7月を「バス車内事故防止強化月間」と定め、バス事業者、バス利用者及び一般のドライバーへの啓発活動を実施。手すりやつり革をの適切な利用を促すための文言をチラシやポスターに追加。
- バス事業者と連携して実施する「バス車内事故防止教室」については、令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止。